

辻かおるの身近な実績紹介コーナー

【ライトの小道のカラー舗装を延長】



5月、JR目白駅から“花のはし”までだった“ライトの小道”の路側帯のカラー舗装を自由学園明日館まで約270m程延長されました。令和3年8月、上り屋敷町会からのご要望を受けて実現したもので、来街者を明日館まで分かりやすく誘導するとともに、歩行者の安全性の向上、さらに景観性の向上も図られています。



花のはし付近



中間付近



自由学園明日館付近

【カーブミラーを追加設置】



6月、一方通行逆方向からT字路を左折して来る自転車が見えにくいため、既に1基設置されていた箇所にカーブミラーが併設されました。(高松2丁目)



設置前



追加設置後

【電柱の建て替え実施】



6月、傾いていて心配との声を受けていた電柱の建て替えが行われました。建て替えに当たっては、一度仮設の電柱に移設した後、最終的に本格設置されました。(要町1丁目)



左が旧電柱 右は仮設 最終建替え電柱

【都道の水溜まりが解消】



7月、要小学校正門脇の横断歩道の水溜まりが解消しました。6月初旬、以前からの水溜まり状況が梅雨の大雨でより顕著になり、学校誘導員の方や近隣の方からも児童はじめ歩行者の安全確保のため改善して欲しいとの声が寄せられました。そこで、管理者である東京都に要請し、2か所に雨水マスを設置するなど大掛かりな工事が行われ水溜まりが解消されました。



水溜まり解消前



雨水マス設置工事の様



水溜まり解消後

随時投稿しています！



【公式HP】 <http://kaoru-tsuji.com/>

【住所】〒171-0043 東京都豊島区要町2-5-13 【電話&FAX】03-3974-7736 【メールアドレス】 k_tsuji@a.toshima.ne.jp



【Facebook】



【Twitter】

【発行者】公明党豊島区議団 豊島区南池袋2-45-1 電話 3981-1428 ◆ 令和4年8月

辻かおる 出前通信

豊島区議会報告

第38号

辻かおるにお気軽にご相談下さい。また、お気付きの点などご一報頂ければ幸いです。

一人の声から 政策実現！



「実現しましたマーク」
どんどん増やしていきます！

スピード第一！
現場第一！

100周年へ向けて、誰一人取り残さない社会を目指します！

ご挨拶

本年豊島区は、区制施行90周年を迎えます。80周年では、セーフコミュニティ国際認証取得を推進しました。次なる100周年へ向けては、SDGs未来都市として、誰一人取り残さない社会を目指して取り組んでまいります。今号では、第二回定例会で行った一般質問と身近な実績についてご報告申し上げます。

「90周年×SDGs」特設
ホームページはこちら



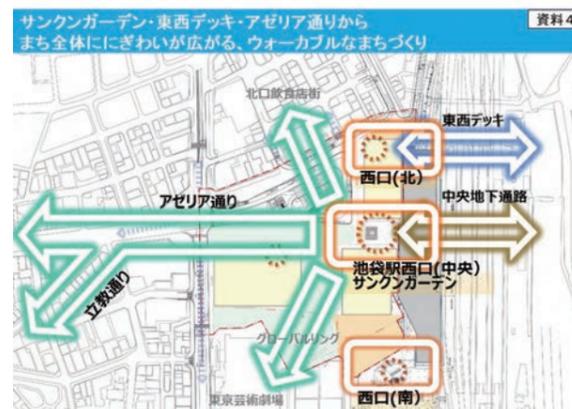
セーフコミュニティ
認証審査会場にて

定例会一般質問より

1. ウォーカブルなまちづくりに関して

質問 池袋西口地区市街地再開発事業に対する高野区長の決意は。

答弁 池袋西口再開発は、駅前にとどまらず、賑わいを周辺にまで広げることで、他の都市とは異なる広がりのある回遊性の高いウォーカブルな街を実現していく。西口中央には、開放的なサンクンガーデンが整備され、丸井跡地の開発では、既存の歩道に加え、歩道状空地を整備することで、アゼリア通りからの人の流れを円滑に立教通りまで誘導します。



区長記者会見資料より



区長記者会見資料より

2. 都市防災について

質問 東京都が首都直下地震等による被害想定を10年ぶりに見直した。オフィスビルやタワーマンションの増加により、区内エレベーター停止台数の想定が3.5倍に増加し、多数の閉じ込めが発生する。区の取り組み状況は。

答弁 「マンション防災ガイドブック」によるマンション居住者向けの防災対策の普及・啓発や、マンション単位での地域防災訓練を推奨。また、本区のマンション管理施策とも連携して管理組合に働きかけるなどし、マンションにおける防災力向上に努めていく。

質問 区民一人一人が「わがこと」として大規模災害に立ち向かっていくための区の取り組みについては。

答弁 平時から身近に楽しく防災を学べる「としまDOKIDOKI防災フェス」の開催、「女性防災リーダーや防災士の育成」、「豊島区防災地図やハザードマップ」による防災意識の普及・啓発を繰り返し実施していく。



マンション防災ガイドブック表紙



無印良品主催防災イベント

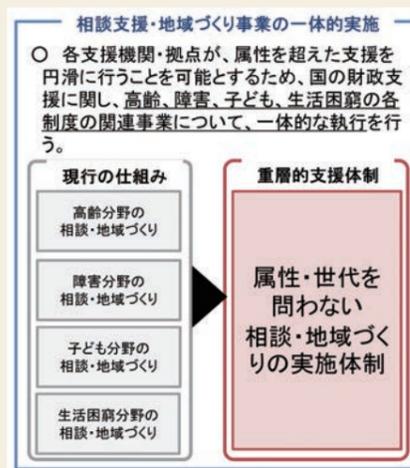
3. 地域共生社会の構築に向けた取り組みについて

質問 国の重層的支援体制整備事業、いわゆる「断らない相談支援」について、区の取り組み状況は。

答弁 令和2年度から本庁舎4階福祉総合フロアの関係各課及び社会福祉協議会の職員に福祉包括化推進員を兼務発令するなど、分野横断的に対応する連携体制を強化し、断らない相談支援体制を国事業に先駆けて構築してきた。

質問 関係機関・関係者とのネットワークにより、地域をともに創っていく地域共生社会の構築に向けた取り組みに関する区の考えは。

答弁 区における地域共生社会は、多職種・他機関の連携を推進し、属性問わず、アウトリーチも行う「コミュニティソーシャルワーカー」を設置していること、また、小学校区単位に「区民ひろば」というコミュニティ拠点があるといった強みを活かして、様々な課題にきめ細やかに対応することを基本的な姿勢として据えている。



重層的支援体制整備事業 (厚生労働省HPより)

4. 千川中学校の改築について

質問 千川中学校改築基本構想・基本計画の進捗状況については。

答弁 改築のコンセプトである「都市の文化と歴史に包まれて、楽しく学び、仲間と集い、地域とともに歩いていく」学校の具体化に向け、建築設計事務所とともに検討を深めている。特に、千川中学校敷地は、山手通りに面する好立地を活かして高度利用が可能なので、学校とも親和性が高く、かつ教育環境の向上が見込めるような子ども関係施設との複合化について検討している。

質問 施設配置の4案のうち、箱型東側配置案による敷地東側建物への影響については。

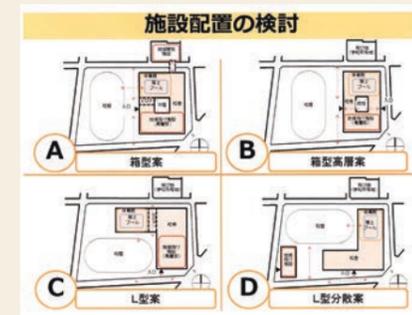
答弁 敷地の有効活用を検討していく中で、敷地東側に校舎を配置する場合は、これまで区にお寄せいただいているご意見やご要望を踏まえながら、敷地東側建物への影響が極力少なくなるよう配慮した設計を検討していく。

質問 高松地域における浸水対策の概要及び下水道工事と建て替え工事との調整については。

答弁 高松地域では、辻議員をはじめ地元の皆さんによる要望が実を結んで、令和2年度から東京都が浸水対策に取り組んでいる。これまでの調査の結果、千川中学校の北側道路にある下水道管を入れ替え、一部の地域の下水の流れを切り替える計画となっている。具体的な調整については、今後、施工内容や施工時期の確定に合わせて行っていく。



考える会で提案されたコンセプト



千川中学校施設配置案



高松地区浸水対策 (東京都下水道局資料)

5. 旧平和小学校複合施設整備について

質問 千川中学校建て替え工事の仮校舎となる「旧平和小学校複合施設整備」に関連して、千川中学校の生徒が通うエリアにおける通学路の安全点検については。

答弁 昨年度インターナショナルセーフスクールを認証した千川中学校では、令和6年4月からの「学び舎びいす」への通学に向け、対象となる現在の1年生を中心とした新たな安全マップづくりを通じて、生徒各自の通学路の安全確認を行っていく。また、地域の方々の声を十分に伺いながら、学校周辺の危険箇所等について必要な対策を講じ、生徒の安全を確保していく。



複合施設整備 説明会資料より (変更の可能性あり)